



亜リン酸液肥

フォスビット K

根の伸長促進

花芽の充実

果実の発達と

成熟を促進!

■成分

保証成分量	
水溶性りん酸	28.0%
水溶性加里	18.0%

FOSVIT K

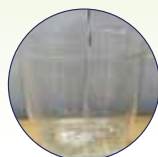
亜リン酸液肥
フォスビット K
1ℓ/20ℓ



株式会社 ハイポネックス ジャパン

特長

- 亜リン酸とカリの含有量が多く、植物に吸収されやすいよう設計された液肥です。
- 特に果実肥大期や生殖生長期に使用することで根張り向上、花芽の充実、着果や結実の促進、果実の発達と成熟を促進します。
- 高温や曇天など環境ストレス下において植物の代謝を活性化します。
- 他バイオスティミュラント資材と併用することで効果が高まります。
- 植物を健全にし、様々なストレスに強くします。



性状:液体



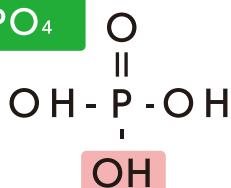
1ℓ



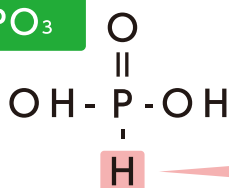
20ℓ

亜リン酸とは？

リン酸



亜リン酸



通常のリン酸肥料は土壤中で固定されやすいですが、亜リン酸はリン酸よりも土壤中で固定されにくく吸収されやすい特長があります。

また低温期でも、しっかりとリン酸を効かせることができる特性があります。

フォスビット Kは通常のリン酸と比べて酸素が一つ少なく分子が小さい亜リン酸を配合しています。

施用事例

トマト

果実の肥大性が
よくなる！



未使用



フォスビット K使用

施用方法

作物	施用時期	施用量・倍率
果菜類	花つき～着果期に7～14日間隔	土壌灌注:500～1,000倍、0.5～1ℓ/10a
	株が過繁茂になっている時に7～10日間隔	葉面散布:500～2,000倍
葉菜類	育苗期の根量増加のために7～10日間隔	土壌灌注:500～1,000倍、0.5～1ℓ/10a
	ネギを太く、果実の肥大のために7～14日間隔	葉面散布:500～2,000倍
根菜類	栄養生長から生殖生長や根部への養分転流切りかえに連続で2～3回	葉面散布:500～2,000倍
鉢花・花壇苗	生殖生長への切りかえに7～10日間隔	土壌灌注:500～1,000倍、0.5～1ℓ/10a
切り花	栄養生長過多の時に、連続で2～3回	葉面散布:500～2,000倍

【pH】4.0～6.0

*施用時期、施用量・倍率は目安のため栽培条件が変わることがあります。一度お試しのうえ、ご使用ください。

*「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

おすすめの組み合わせ

ストレス時はライゾーやボンバルディアで樹勢を保ち、フォスビット Kにより後半しっかりと花・実つきを促進し、収量増加に結びつけます！



有機活力液肥
ボンバルディア

+



根張り促進型肥料
ライゾー

+



亜リン酸液肥
フォスビット K

詳しい内容、
注意事項は
こちら

